

単元・題材名等：バスケットボール学年等：9年生授業者名（高橋 雄大）	
助言者名（橋本 卓也）	
司会者名（吉村 貴文） 記録者名（山口 貴之）	
発言者	内 容
【自評】 高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の授業の様子を使って授業を始めている。家庭でも見られる環境があるため、授業内での運動量の確保につながっている。 ・ボールを持っていないときの動きに着目して動画を見たり、撮影したりしている。 ・バディーチームを作って、お互いにアドバイスをしたり、練習相手になったりしている。 ・練習の合間に話し合う様子が見られた。 ・振り返りはタブレットを活用しているが、ネット環境が準備できないため紙での振り返りになった。そのため少し時間がおした。
【質疑応答】 江原	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題と評価基準について、「スペースをつくる」の解釈 ○スペースを作る動きのLカット、Vカットを教えてきた。そういう動きができていればB評価を与えていいかと思っている
力合 中山	<ul style="list-style-type: none"> ・ディフェンスがハードだったが、ディフェンスの仕方の指導があったのか。 ○マンツーマンマークを基本に教えてきた。2時間目にディフェンスの仕方の指導をした。
日奈久 矢野	<ul style="list-style-type: none"> ・3対3をオールコートでされていたが、実際はハーフコートでの攻防がメインだったと思う。先生の意図を聞きたい。 ○1年生の時はハーフコート。運動量の確保、ポジションを整えるためにオールコートで行った。
【協議】 益城 上林	①グループ分けで悩むことが多く、グループ分けで何を大切にされているかとても気になっている。先生方の考えを聞きたい。
有明 杉本	②授業最後に、動画を活用して自分たちのいいプレーを紹介させている。
力合 中山	②苦手な生徒にとって、動画を見て発言することは難しい。単元の中で、思い切り1時間取って動画を見て作戦を立てるなどの時間があってもいいかと思う。
出水南 福田	②動画は撮ってすぐに見る方がイメージしやすいように思う。チーム全体を撮るのではなく1人が1人を撮影するなどの方法もある。
錦 久保田	②チームの動きをパターン化することによって、苦手な生徒にとっても動きやすいものになる。
【指導助言】 橋本指導主事	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の県の体力運動能力調査の県基準との比較、女子の体力の低下傾向に課題がある。 ・「運動が好き」という生徒が増えているが、「嫌い」と答えた生徒も増えている。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・運動時間についても二極化が進んでいる。・グルーピングのポイント、「安心」・「学びを深める」などのキーワードがある。実態に応じて。・ICTの課題、①観察のポイントの明確化 ②運動量 ③活用されているか・ルールや場の課題、①安全 ②効率 ③成長や学びの共有・目標設定や評価方法の課題、①問いの工夫 ②振り返りの工夫 |
|--|--|